

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	指標	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②			
巡回・窓口相談指導事業	管内小規模事業者等に対して、巡回相談指導や窓口相談指導を通して、自助努力だけでは克服し得ないような様々な課題を解決するため、関係官公庁並びに各種団体等と連携を図りながら経営改善普及事業を実施する。	巡回指導 実企業161（うち非会員30） 延企業247（うち非会員34） 窓口指導 実企業389（うち非会員48） 延企業883（うち非会員71） 創業62 ・巡回窓口指導延件数1192件 ・課題解決提案件数 64件 ・経営革新承認件数 4件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 116.9%)	1020	1192	指標 課題解決提案件数 (達成度 128.0%)	50	64	新型コロナウイルス対策特別支援窓口を設置し、「支援金」「補助金」「融資」などの相談対応を行い、小規模事業者の経営改善の手助けができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	今後も引き続き小規模事業者の経営改善を目的に、巡回・窓口指導を行う。	○
記載継続指導	東海税理士会刈谷支部の協力を得て、記載から決算及び申告までの一切の実務について継続的に分かりやすく指導し、自主記帳能力を養成する。	・指導事業者数18件 (継続指導10件、機械化指導8件) ・指導回数 128日 ・指導回数 154回	小規模事業者	指標 指導事業者数 (達成度 60.0%)	30	18	指標 (達成度 %)			新規青色申告者などに対して、記載から決算および申告までを指導することにより、自主記帳能力の養成に寄与できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き新規青色申告者などの自主記帳能力養成を目的に、記載継続指導を行う。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、地域の中小・小規模事業者等にとって必要な知識・技術を習得させるほか、時事的な問題の啓蒙を図る。	・集団指導 延24回369名 (内、経営革新1回12名) ・個別指導 延35回512名 計59回881名	小規模事業者	指標 集団指導延参加者数 (達成度 295.2%)	125	369	指標 個別指導延参加者数 (達成度 81.8%)	626	512	デジタル化の推進、カーボンニュートラルへの対応、消費税インボイス制度対策など、時宜を得たテーマによる集団講習および個別指導を実施できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	今後も引き続き小規模事業者の経営課題解決に資する、講習会事業を行う。	○
若手後継者等育成事業	中小・小規模企業の若手経営者、後継者及び女性経営者等の自己研鑽、啓蒙活動を通して、資質向上を図り、企業及び地域社会の発展を図る。	・定期総会 ・合同公開講演会 ・理事会等 (実施事業合計数：41回) (うち、補助金充当の講習会3回、149人)	管内中小・小規模事業者等を中心とする青年部員・女性会会員	指標 実施事業合計数 (達成度 205.0%)	20	41	指標 (達成度 %)			青年部・女性会の主催により、さかなクンによる講演会を開催した。SDGsについて子供から大人まで学べる内容で、非常に有意義な講演会となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き青年部・女性会の自己研鑽・地域貢献を目的に、若手後継者等育成事業を行う。	
地域産業祭事業	地域の経済活動と振興を図るため、刈谷市・刈谷商工会議所の両者が主催となり、刈谷市観光協会などの後援を受け、刈谷産業まつりを開催する。	刈谷産業まつり1月14日 出展社数：16社 来場者数：10,000名 ・事業運営に関する会議、支援	碧海地域の中小・小規模企業者等	指標 来場者数（刈谷市発表） (達成度 200.0%)	5000	10000	指標 (達成度 %)			刈谷商工会議所青年部主催「カリフェス」と、同日開催により開催した。当日はマルシェ、ワークショップなど出展により多く来場があり、地域振興に寄与できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き社会貢献活動を目的に、地域産業祭事業を行う。	
商店街振興事業	個人消費の拡大及び販売促進に結びつく事業として、刈谷市・刈谷市商店街連盟との連携を軸に、各種事業を実施する。	・かりや商業まつり事業 参加店舗数：206社 刈谷ビジネス創造大学 参加事業所数：14社 刈谷の美味しい銘品事業 参加事業所数：31社 (参加店舗合計：251社)	管内中小・小規模事業者等	指標 参加店舗・事業所合計 (達成度 418.3%)	60	251	指標 (達成度 %)			今年度新たに「刈谷の美味しい銘品認定」事業を実施した。事業者の優れた土産品・贈り物を認定し、認定品の販売促進支援に寄与できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き参加事業者の販売促進などを目的に、商店街振興事業を行う。	○
街づくり事業	刈谷市の進める中心市街地のまちづくりに対する基本的な方向性について、提言活動を行うとともに、地域生活者の観点に立ち、住みやすく歩いて楽しい生活空間づくりを行う。	・都心交流エリアワークショップ（8回）・かりや商科大学18講座20回開催 (合計開催回数28回)	管内中小・小規模事業者等	指標 開催回数 (達成度 140.0%)	20	28	指標 (達成度 %)			「かりや商科大学」では、商業者を講師に迎え、市民向け講座を開催した。コロナ禍ならではのテーマも設定し実施できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き市街地の賑わい創出を目的に、街づくり事業を行う。	○
地域産業活性化事業（創業者人材育成事業）	新規開業の促進・地域雇用機会の創出等を図ることによって、地域経済の活性化を図る。	・創業スクール開催 (1回 参加人数21名) ・創業支援セミナー開催 (1回 参加人数19名) (合計参加人数40名)	創業希望者等	指標 参加人数 (達成度 400.0%)	10	40	指標 (達成度 %)			創業予定者を対象とした、創業スクールを開催。創業者のビジネスプランの作成を支援し、創業に向けた準備に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き創業希望者の創業支援を目的に、創業者人材育成事業を行う。	○
商談会事業	ビジネスマッチング事業を実施し、企業交流の場の提供、ビジネスチャンスの創出等により、地域の中小・小規模事業者等の経営の発展と安定に寄与する。	三河・知多地域商談会 参加企業数 11社 アライアンス・パートナー発掘市参加企業数 6社 (参加企業合計数：17社)	管内中小・小規模事業者等	指標 参加企業合計数 (達成度 113.3%)	15	17	指標 (達成度 %)			今回はアライアンス・パートナー発掘市をオンラインで開催。ビジネスチャンスの創出及び有益な情報交換に貢献できた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続きビジネスチャンス創出などを目的に、商談会事業を行う。	○
雇用促進事業	優秀な人材の確保による企業の繁栄、さらには地域経済の発展に寄与することを目的とする。	・刈谷・大府企業就職フェア（27社）・理工系大学教授等との情報交換会（16社）・企業合同説明会西三河地区合同（27社） 刈谷安城知立高浜東浦（22社）刈谷工科高校（33社）知立高校（12社）高浜高校（17社） ・優良従業員表彰（44社） (参加企業合計数：延198社)	管内中小・小規模事業者等	指標 参加企業合計数 (達成度 198.0%)	100	198	指標 (達成度 %)			コロナ禍における採用活動を後押しするため、オンラインの活用や感染対策によって、合同企業説明会を開催し、企業の雇用確保に貢献することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	今後も引き続き企業の雇用確保などを目的に、雇用促進事業を行う。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	内容	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
青年部・女性会事業	会員相互の親睦と信頼関係を構築する行事を行うことにより、組織の強化育成並びに事業活動の円滑な運営が図られるとともに、地域社会の発展に寄与する。	例会等（合計6回）	管内中小・小規模事業者等を中心とする青年部員・女性会会員	指標	実施事業合計数 (達成度 50.0%)	指標	(達成度 %)	会員の資質向上を図る講習会を実施した。また、会員交流の機会を設け、例会活動を円滑に実施することができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	今後も引き続き企業の青年部・女性会の会員相互の親睦などを目的に、青年部・女性会事業を行う。		
部会・委員会事業	部会事業は、異業種交流の場として経営に役立つ様々な事業を展開する。委員会事業は、国や県、刈谷市が実施している中小企業対策や地域振興策などの事業に対して意見集約や政策提言活動等を行い、地域経済社会の振興に資する。	・工業第一・二部会、商業第一・二部会、サービス第一・二部会の事業（計22回） ・部会親善ソフトボール大会（1回） ・運営委員会（3回）、中小企業活性化委員会（2回）の開催（合計28回）	管内中小・小規模事業者等	指標	開催回数合計 (達成度 116.7%)	指標	(達成度 %)	約3年ぶりに、各部会で視察研修を企画・開催した。視察先での研修や参加者同士の交流の機会となった。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	今後も引き続き経営向上などを目的に、部会・委員会事業を行う。		
福利厚生事業	各種共済制度の普及拡大を図ることにより、企業の健全な育成に資する。	・共済事務処理、共済推進会議への出席、巡回指導・窓口指導等による普及拡大（共済制度加入事業所数：642事業所） ・健康診断実施	管内中小・小規模事業者等	指標	共済制度加入事業所数 (プレミアム共済) (達成度 107.0%)	指標	(達成度 %)	企業の経営者及び従業員等に対する福利厚生として各種共済制度への加入により、経営と雇用の安定を図った。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	今後も引き続き経営者及び従業員等に対する福利厚生に資する目的に、福利厚生事業を行う。		
労働保険事業	中小・小規模事業者の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の適正な加入促進及び労働保険料の適正な徴収（納付）を図る。	・労働保険事務組合業務全般（指導事業所件数：187件） ・労働保険事務組合連合会等会議・研修会等に参加	管内中小・小規模事業者等	指標	指導事業所件数（事務組合員数） (達成度 138.5%)	指標	(達成度 %)	中小・小規模企業者の事務処理の軽減を図り、労働力の安定的確保並びに労働条件の向上を図ることができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	今後も引き続き企業者の事務処理軽減目的に、労働保険事業を行う。		
税務関係団体指導事業	中小・小規模事業者を始めとする経営者等に正しい税知識を周知するほか、納税意識の高揚を図る。	刈谷青色申告会、刈谷青色申告会連合会、（公社）刈谷法人会、（公社）刈谷法人会刈谷支部等総会・役員会等への出席（事業実施回数：18回）	管内中小・小規模事業者等	指標	事業実施回数合計 (達成度 180.0%)	指標	(達成度 %)	刈谷税務署や東海税理士会との協力を得て、e-Taxに係る個別相談会などを通じて、事業者の電子申告の普及に貢献できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	今後も引き続き正しい税知識等の普及を目的に、税務関係団体指導事業を行う。		
産業団体等指導事業	労働法令の普及により、従業員への労働安全衛生等の維持・向上さらには商工業の活性化に寄与する。	刈谷労働基準協会の事業運営のサポート（構成員事業所数：286事業所）	小規模事業者を始めとする団体の会員	指標	構成員事業所数 (達成度 98.6%)	指標	(達成度 %)	BCPやカーボンニュートラルに関する講習会を相談所と共催するなど、企業活動の支援に貢献できた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	今後も引き続き企業者の労働安全衛生等の向上を目的に、産業団体等指導事業を行う。廃業・移転等により構成員が減少するため、目標を下げる。		
人材育成事業（新開発マネジメント事業）	刈谷市からの委託事業である「中小企業新開発マネジメント事業」においては、様々な分野の専門家を招聘して、実務的な講習会を開催するほか、窓口相談、企業訪問指導を実施し、モノづくり企業の経営支援体制を強化する。	「刈谷モノづくり大学」専門家派遣による指導・相談。社内研修会の実施。（参加事業所数：45社）	管内中小・小規模事業者等	指標	参加事業所数 (達成度 90.0%)	指標	(達成度 %)	「刈谷モノづくり大学」ではオンラインによる専門家派遣を通じて、企業の課題解決に寄与するとともに、社内研修を通じて人材育成に貢献することができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	今後も引き続き企業の経営課題解決提案を目的に、新開発マネジメント事業を行う。		
地域振興祭事業	刈谷わんさか祭りは、ステージショーとともに、市内飲食業者等が出店する店舗があるなど市の代表的な夏祭りであり、会場内で協賛企業の名前を披露されることは広告効果も大であり、地域活性化に寄与する。	刈谷わんさか祭りの開催開催時期：8月20日（来場者数 52,000人）	わんさか祭り協賛企業並びに市内飲食業者等	指標	来場者数 (達成度 52.0%)	指標	(達成度 %)	3年ぶりに刈谷わんさかまつりを開催した。当日は、露店・商店街や防災・交通安全ブースなどの催し物が行われ、かりや益フェス後には約10分間花火が打ち上げられ、地域活性化に寄与した。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	今後も引き続き祭りによる地域活性化を目的に、地域振興祭事業を行う。規模縮小により実施することが想定されるため、目標を下げる。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等			
人材育成事業 （検定等支援事業）	商工会議所が実施する検定試験は「商工会議所法」に基づき全国統一の基準で実施する「公的試験」であり、ビジネスに直結する知識やスキルを重視しており、企業が必要とする人材の育成を目的に実施する。	日本商工会議所検定試験（珠算3回、簿記3回） 日本珠算連盟刈谷支部委員会（5回）、そろばんフェスティバル（1回）、優良生徒表彰（1回） （開催回数合計：13回）	検定受験申込者	目標① 開催回数合計 （達成度 100.0 %）			目標② （達成度 %）			各種検定試験を開催することにより、企業が求める人材の知識習得やスキルの向上に資することができた。		総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業が求める人材の知識習得やスキルの向上を目的に、検定等支援事業を行う。
				目標数値	実績数値	13	目標数値	実績数値							目標達成度	必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②	
調査・広報事業	・日本商工会議所が実施しているL O B Oとは早期景気観測の略称で、各地域の「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査し、景気対策等に関する意見として活用する。「刈谷あきない倶楽部」は、会員事業所の独自の製品・サービスを紹介することにより営業活動の一助とする。	・L O B O調査（調査回数：12回） ・ホームページ「刈谷あきない倶楽部」、会報、ホームページ等作成	管内中小・小規模事業者等	目標① 調査回数 （達成度 100.0 %）			目標② （達成度 %）			L O B O調査は、地域の中 小企業等が感じる景況を把握し、会 議所事業に役立ち、刈谷あきない倶 楽部では、参加店の営業活動の一助 となることができた。		総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き中小企業の景況把握等を目的に、調査・広報事業を行う。
				目標数値	実績数値	12	目標数値	実績数値							目標達成度	必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。